

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイル柏		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		～ 2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	55	(回答者数) 46
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 15日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基礎体力の向上と身体の基本的な動かし方を身につけることができ、学校の体育に即しながら運動ができるようにしていくことができること。1人1人の特徴に応じた個別での指導により、スモールステップで成功体験を積みながら、自信をつけることができる。	運動が楽しいと感じてもらえるようなメニューを、児童それぞれに合わせて行っている。決まっているメニューだけではなく、保護者から要望のあった場合には、要望があった種目を入れている。	引き続き個別での運動指導を行う中で、少しずつ集団にも慣れていけるように支援を行っていく。放課後等デイサービスを使うことができなくなってしまう学校卒業後の余暇活動に繋がるような運動(スポーツ)に取り組んでいく。
2	運動を通して、心身ともに健康に生活できるような支援を行っていること。コミュニケーション能力の向上と対人関係や自己感情コントロールやルールを学ぶ機会も作っている。	ストレッチや筋力トレーニングで姿勢の維持や体幹を鍛えて、筋力や体力がつくように支援を行っている。また運動を通して自分の気持ちを伝えられるように、コミュニケーションを取ることができるように支援を行っている。	ストレッチや筋力トレーニングのメニューを少しずつ増やしたり、回数を増やしたりすることでレベルアップして、児童の自信に繋がるように支援していく。
3	指導者とマンツーマンでの運動だけではなく、集団での運動イベントも行っていること。	運動を通して様々な人と関わることにより、社会性が身につくように支援している。	引き続き定期的にイベントを開催することで、人と関わる機会を作っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	指導室のスペースが少し狭く、運動の際に動きに制限が出る時がある。	小学校高学年になると身体の成長もあり、より動きに制限が出てきてしまう。特に2人で同時に指導を行う際には、指導室スペースの広さの必要性をより感じる。	引き続き限られたスペースの中で、行える運動メニューやルールを考えて工夫をしながら行う。
2			
3			